

電子カルテ導入のお知らせ

当院では3月17日より電子カルテの導入を行います。

これまで、職員による操作研修、リハーサルを実施し、スムーズにシステムを運用できるよう病院全体で取り組んでいます。電子カルテの扱いに慣れ、スムーズに運用できるようになるにはある程度の時間がかかると思われます。

導入当初は患者様をお待たせしてしまうなど、ご迷惑をお掛けする場合も考えられます。

何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。今後とも有田共立病院は、安全で信頼できる医療を目指し、努力を重ねてまいります。

平成21年2月 病院長

◎ 電子カルテとは？

患者さまが病院を受診しますと、病状や検査の結果、どのような治療を行ったのか、また、処方した薬などを記録しておき、今後の治療のために文書を作成します。いわゆるこれが、カルテです。

医師が紙に記入したものをつづり・まとめたものを「紙カルテ」といい、コンピューターを使用して記録・管理するカルテを「電子カルテ」といいます。

◎ どうして紙カルテから電子カルテに変更するの？

病院で行うさまざまな検査については、コンピューターの発展とともに、高度で豊富な検査結果が短時間で得られるようになりました。これらを行う検査機器や放射線装置などについては、ほとんどがコンピューターを使用していますが、現在は、カルテが紙であるため連動しておらず、それぞれ別々に管理しております。これらの検査結果など全ての情報を一括で管理し、効果的な医療の提供を行うため、その中心となるカルテを電子化するものです。

◎ 電子カルテでどんなことがよくなるの？

コンピューターで一括管理することで、必要な情報が瞬時に取り出すことができます。例えば、過去の検査結果や画像(写真)を現在のものと比較して診察ができますし、診察室にある画面でわかりやすい説明を聞いていただくことができます。

病院スタッフが、院内のどこにいてもカルテをみて、記録することができるので、情報共有することが可能となり、チーム医療や医療安全に大きく貢献することができます。

